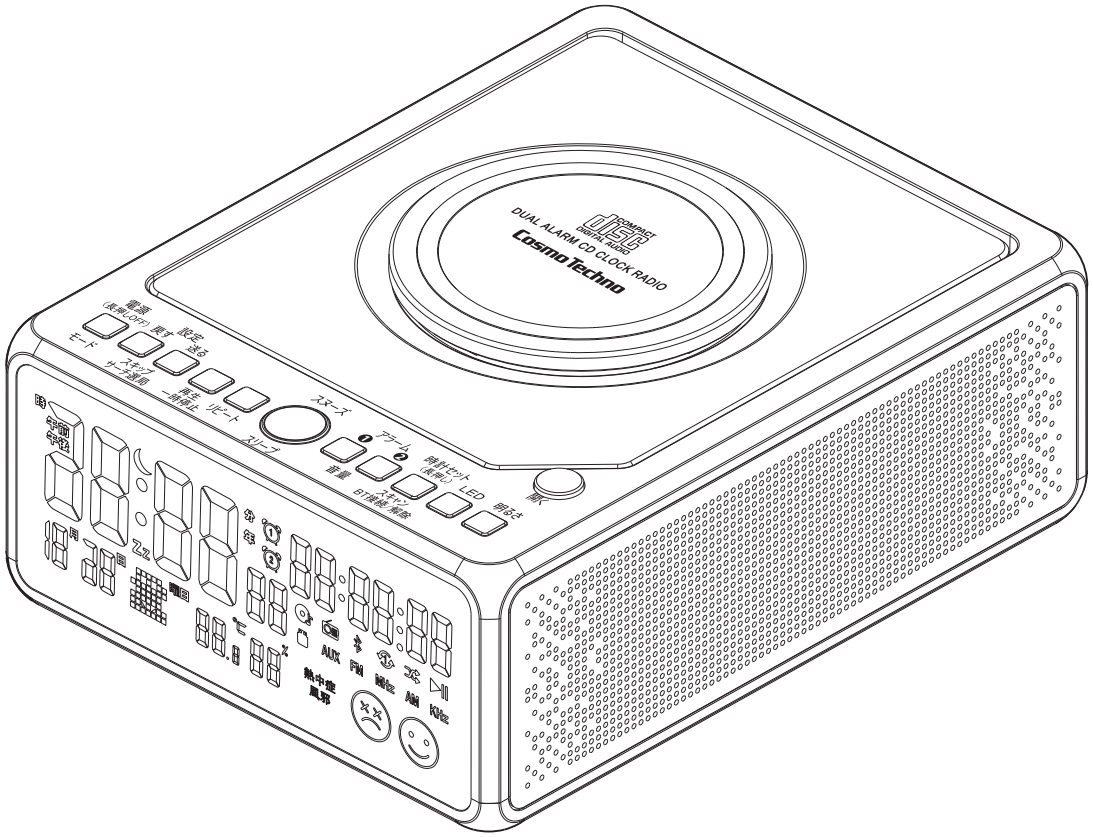
取扱説明書

CD クロックラジオ
CD-CLR3J



安全にお使い頂くために
・この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。 ・ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。 ・お読みになった後はいつでもご覧になれるように必ず保存してください。

Cosmo Techno

目次

1　使用上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2　取り扱い上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
3　各部の名前とはたらき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
4　準備をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
5　アラーム（目覚まし）を使う ・・・・・・・・・・・・・・・11
6　ラジオを聴く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
7　CD を聴く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
8　USB で MP3 を聴く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
9　アナログ機器を接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・15
10　BT（ブルートゥース）を接続する ・・・・・・・・・・・・16
11　ヘッドホンで聴く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
12　スリープ（おやすみ）タイマーを使う ・・・・・・・・・・17
13　LED イルミネーションの ON/OFF ・・・・・・・・・・・17
14　LCD ディスプレイの明るさを変える ・・・・・・・・・・17
15　リモコンで操作する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
16　インフルエンザ / 熱中症警告 ・・・・・・・・・・・・・・19
17　故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
18　主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

1　使用上のご注意

正しく安全にご使用いただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺でのご使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コード
が破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（天板・裏蓋）を外したり、改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の
原因となります。



乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



雷が鳴り出したら
アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因と
なります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に
ご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■取り扱いについて

風呂場では使用しない
火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

花瓶やコップ、小さな金属物をこの機器の上に置かない
万一内部に水や異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源
プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま
火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。




電池を交換する場合は
極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



CD プレーヤーの蓋の開閉に注意してください
無理に蓋を開閉したり、CD を持ちながら蓋を開閉した場合、けがや CD 破損の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



■置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所におかないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



次のような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
●湿気やホコリの多いところ
●直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの底部や側面などに通風孔が開けてあります。つぎのような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがります。

・あお向けや横倒し、逆さまにする
・押入れ・専用のラック以外の半箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。





■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



2　取り扱い上のご注意

結露現象について

■結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

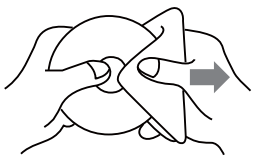


■結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、１～２時間で使用できるようになります。

ディスクの取り扱い

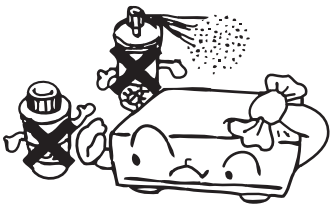
■ディスクの文字の書いてない面（読み取り面）には触れないようにします。
読み取り面が汚れた場合には綺麗な柔らかい布でCD の中心から外周方向へ軽く拭き取ります。



お手入れについて

■キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは柔らかい布を使用し、軽くふきとってください。
◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので、使用しないでください。



使わないときは

■ふだん使わないとき
◎電源をきってください。
◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■移動させるとき
◎衝撃を与えないでください。



設置の際のご注意

■放熱のため、壁から 10cm 以上離して設置して下さい。

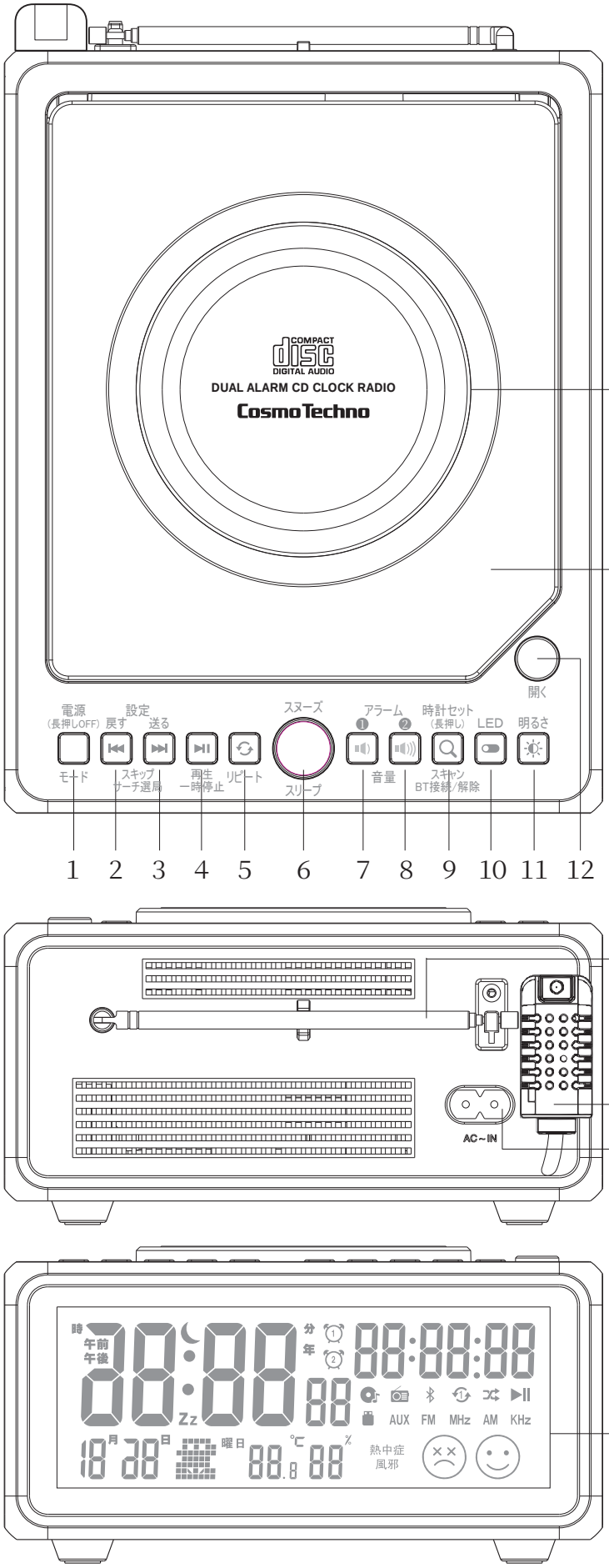
ステレオ音のエチケット



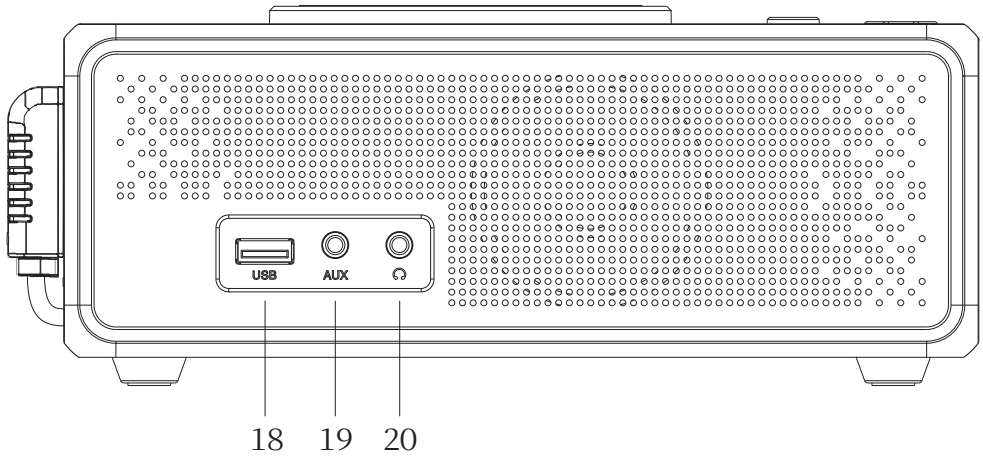
◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。
　夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

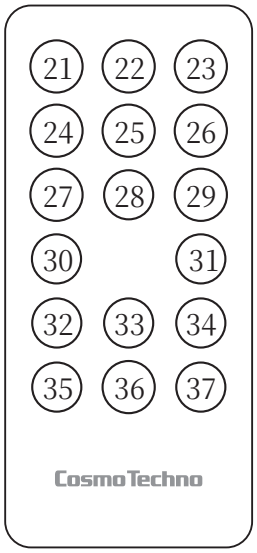
3　各部の名前とはたらき

1．電源 / モードボタン
2．戻す / スキップ⊖/ サーチ⊖ボタン
3．送る / スキップ⊕/ サーチ⊕ボタン
4．再生 / 一時停止ボタン
5．リピートボタン
6．スリープ / スヌーズボタン
7．アラーム① / 音量小ボタン
8．アラーム② / 音量大ボタン
9．時計セット / スキャン
/ BT 接続解除ボタン
10. LED ボタン（LED イルミネーション）
11. 明るさボタン（LCD ディスプレイ）
12. 開くボタン（CD ドアー）
13. LED イルミネーション
14. CD ドアー
15. FM ロッドアンテナ
16. 温度・湿度センサー
17. AC IN 端子
18. LCD ディスプレイ



各部の名前とはたらき（つづき）





リモコン

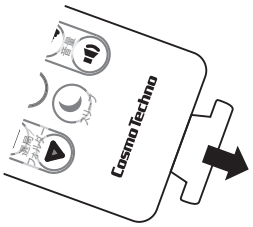


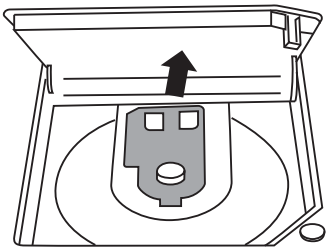
18. USB 端子
19. AUX IN（外部入力）端子
20. ヘッドホン出力端子
21. 電源ボタン
22. モードボタン
23. 明るさボタン
24. リピートボタン
25. プログラムボタン
26. 音質ボタン
27. スキャン / BT 接続解除ボタン
28. 再生 / 一時停止ボタン
29. 消音ボタン
30. 戻すボタン
31. 送るボタン
32. 選局 / フォルダー UP ボタン
33. 停止ボタン
34. 音量大ボタン
35. 選局 / フォルダー DOWN ボタン
36. スリープ / スヌーズボタン
37. 音量小ボタン

4　準備をする

■リモコンの準備をする

リモコンの絶縁シートは抜き取ってください。



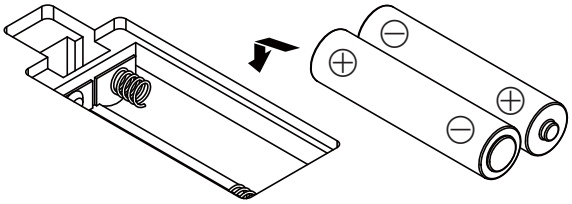


■CD の準備をする

CD ドアーを開け CD メカ保護シートは抜き取ってください。（右上の図）

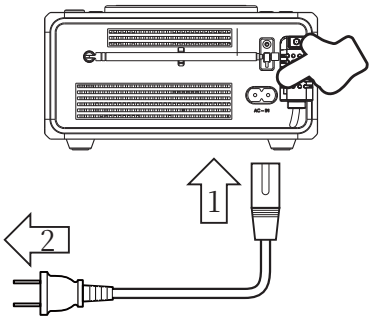
■本体に乾電池を取り付ける

本体底面の乾電池カバーを取り外し、単四乾電池 2 本を＋とーを間違えないように乾電池の平らな面を電池ホルダーのコイルスプリング側に押し当てるようにして挿入します。挿入後はカバーを元通り取り付けます。この電池を取り付けると停電時や本体移動時などに電源コードを抜いた場合でも時計とアラームの設定は保持されます。



■電源コードを接続する

本体裏面の AC IN 端子に附属の電源コードを差し込んだ後に電源プラグをコンセントに差し込んでください。

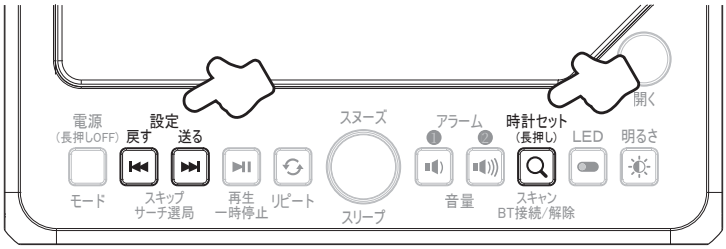


■時計を合わせる

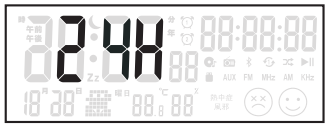
西暦、日付、時間の設定

●使用するボタン

＊設定は電源 OFF（秒表示の右に表示のない）状態で行います。
＊初期設定の順番は、12H/24H→時→分→年→月→日になります。



●電源 OFF の状態で時計セットボタンを長押しするとディスプレイに【24H】が点滅します。設定ボタンを押し 12H 表示か 24H 表示か選んで時計セットボタンの短押しで確定します。12H 表示を選択すると午前 / 午後が表示されるようになります。

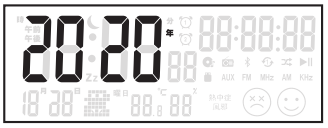


●【時】が点滅している状態で設定ボタン（送る・戻す）で現在【時】に合わせた後に時計セットボタンを短押しします。同様に【分】を合わせます。

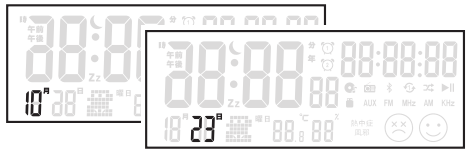


●以下、設定ボタン（送る・戻す）で合わせて時計セットボタンを押して確定する操作の繰り返しとなります。

●【年】表示が点滅してから【年】を合わせます。続いて【月】を合わせ最後に【日】を合わせ終了です。

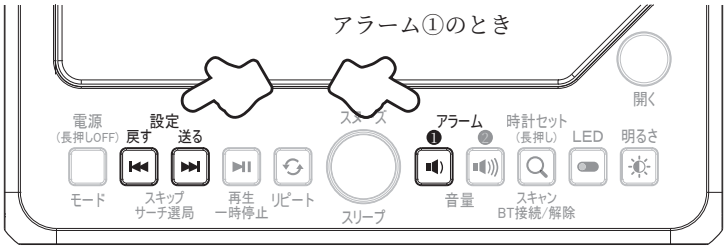


＊曜日は自動的に表示されます。
＊日を合わせ終わったところから 00 秒スタートです。



5　アラーム（目覚まし）を使う

■アラームを設定する

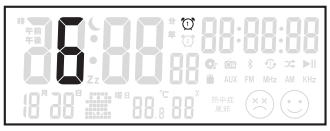


アラーム①と②のふたつ設定できます

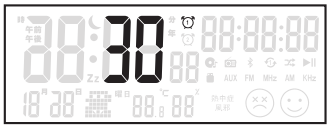
●使用するボタン

＊設定は電源 OFF（秒表示の右に
　表示のない）状態で行います。
＊設定の順番は、
　時→分→音源→音量　になります。
＊設定した時間に音がでます。曜日の設定はできません。

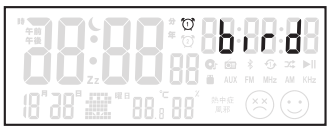
●アラーム①ボタンを長押しして【時】の数字が点滅したら設定ボタン（送る・戻す）で【時】を合わせます。
　合わせたらアラーム①を短押しし確定します。



●【分】が点滅するので設定ボタンで【分】を合わせます。
　合わせたらアラーム①を短押しします。

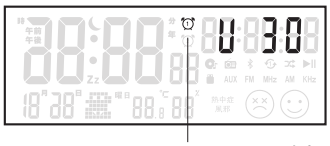


●続いて音源を選びます。設定ボタンで PP(ピピピ電子音)、tune(ラジオ)、 CD、USB、BT、BIRD(鳥の声) から選びます。
　合わせたらアラーム①を短押しします。



●同様にアラームの最大音量を設定しアラーム①を短押しします。

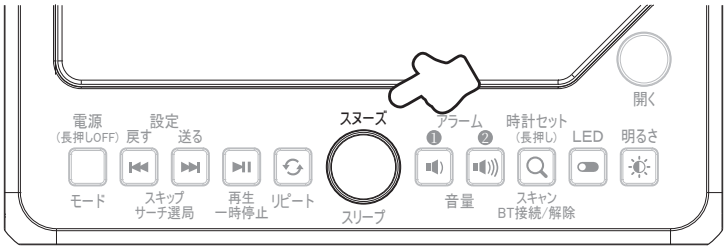
●ディスプレイにはアラームアイコンが表示されアラームが設定されていることがわかります。



アラームアイコン

＊アラーム②も同じ操作手順で設定できます。
＊アラームアイコンが表示されていないとアラームは鳴りません。
＊電源 OFF のときアラームボタンの短押しで、アラーム動作（アラームアイコン）を ON/OFF できます。ON にしたときには確認のためアラーム時間、音源、音量が表示されます。

■アラーム音を止める



●使用するボタン

＊音源が CD の場合、読み取り準備から音が出るまでに時間が掛かる場合があります。

●アラーム動作中にスヌーズボタンを短押しするとアラーム音は止まりますが、5 分後に繰り返しアラームが動作します。
　このスヌーズ中には時計の時と分の間にスヌーズアイコン ”Z z” が表示されます。



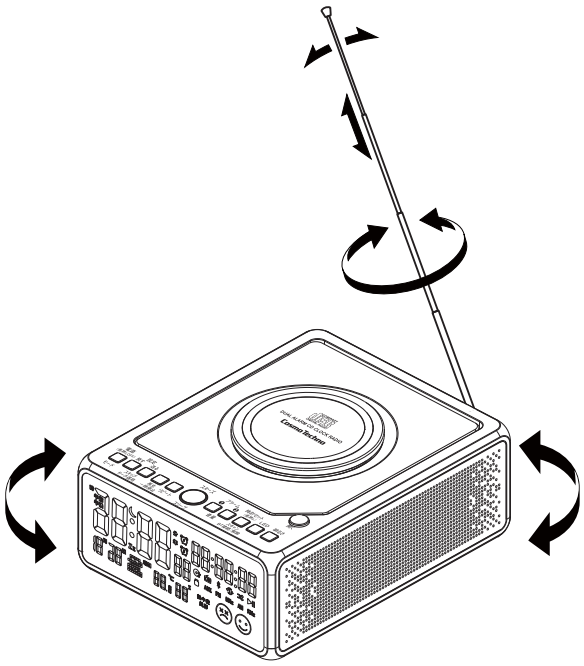
スヌーズアイコン Zz

●アラームを終了するにはスヌーズボタンを長押しします。スヌーズアイコンは消え同日は鳴りません。

＊短押し⇒スヌーズ　　長押し⇒目覚まし OFF

スヌーズ = snooze：居眠り、うたた寝

6　ラジオを聴く



■準備

●FM 放送の受信
本体背面の FM ロッドアンテナを伸ばします。

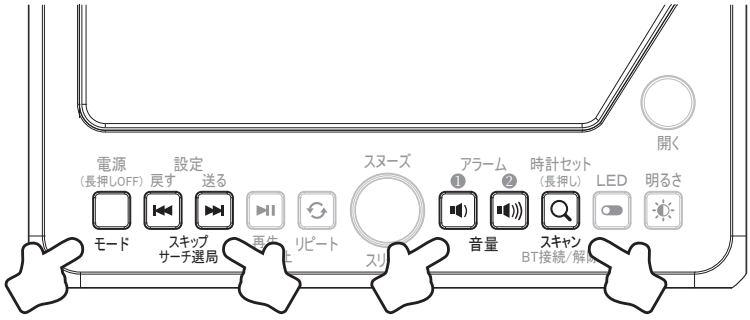
＊よく受信できるようにアンテナの向きを調整します。

●AM 放送の受信
AM アンテナは本体に内蔵されています。

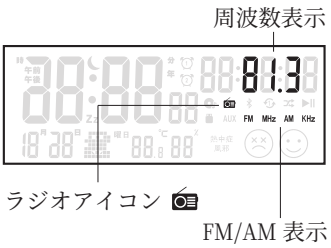
＊よく受信できるように本体を動かします。
＊ラジオの受信感度は設置場所により変わります。
＊窓際は受信し易い場所ですが、本機を直射日光の当たる場所に設置すると、温度・湿度センサーの動作に影響を及ぼし故障の原因となります。

■操作

●使用するボタン



●モードボタンを押しラジオモードになると、ラジオアイコンが表示されます。



＊モードボタンを押すたびに　FM→AM→CD→USB→AUX→BT
を繰り返します。

●同様にモードボタンで FM か AM を選びます。本体ディスプレイ右側に周波数とともに FM MHz もしくは AM KHz が表示されます。

●スキップボタンの長押しと短押しで希望する周波数に合わせます。

＊長押しでサーチモードとなり強い電波を受信すると自動停止します。

●音量ボタンで音量を調節します。

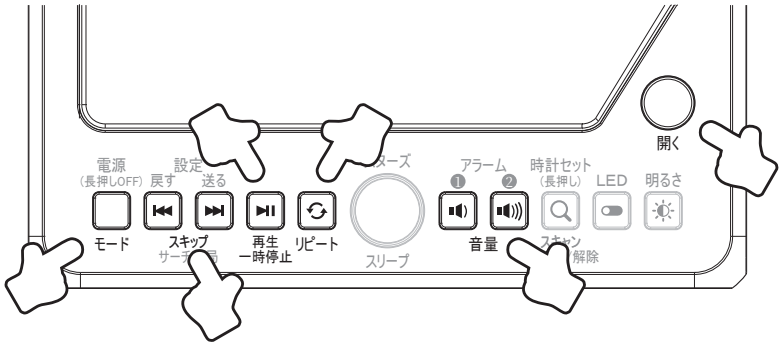
＊一時停止ボタンは消音（MUTE）ボタンとして機能します。

●自動選局メモリー機能：
スキャンボタンを短押しして受信可能な放送局の自動スキャンもできます。
スキャンされた局は順にメモリーされます。（最大 10 局）
リモコンの選局ボタンでメモリーされた局を選んで聞くことができます。

サーチ = search：捜す
スキャン = scan：走査する

7　CD を聴く

■操作



●使用するボタン

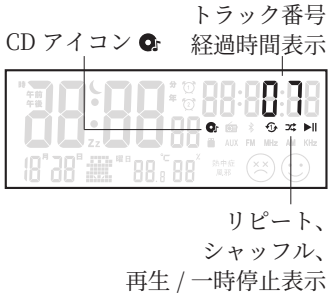
●開くボタンを押して CD ドアーを開けレーベル面を上にして CD をセットし CD ドアーを閉じます。

＊CD ドアー開閉時に指をはさまないように注意してください。
＊CD 読み取り部レンズにホコリが付着すると CD 再生ができなくなることがあります。CD 交換時以外は CD ドアーは閉じておいてください。

●モードボタンを押して CD モードにします。CD アイコンが表示されます。

●全体のトラック数（曲数）表示後に音楽は自動的に再生されます。

＊ディスクが入っていない時もしくはディスクが読み取れない時にディスプレイに no と表示されます。



●スキップボタンの短押しで曲の送りまたは戻しができます。
長押しで早送りまたは巻戻し再生になります。

●リピートボタンでリピートやシャッフルができます。

＊リピートボタンを押すたびに　OFF→ONE→SHUFFLE→ALL　を繰り返します。
＊MP3 形式でフォルダー分けしている場合は　OFF→ONE→FOLD→SHUFFLE→ALL　を繰り返します。

OFF	：通常再生
ONE	：1 曲リピート（繰り返し）再生します。
FOLD	：選択したフォルダー内の MP3 音源だけを繰り返し再生
SHUFFLE	：収録順に関係なくランダムに再生
ALL	：全曲繰り返し再生します。

●再生途中に再生 / 一時停止ボタンを押して一時停止、もう一回押して再生になります。

●使用できる CD
音楽用 CD　：本機で再生できる CD は右のマークの付いているものです。
CD-R/CD-RW：音楽用 CD フォーマットで記録されているもの。
CD-R/CD-RW：MP3 形式で記録されているもの。

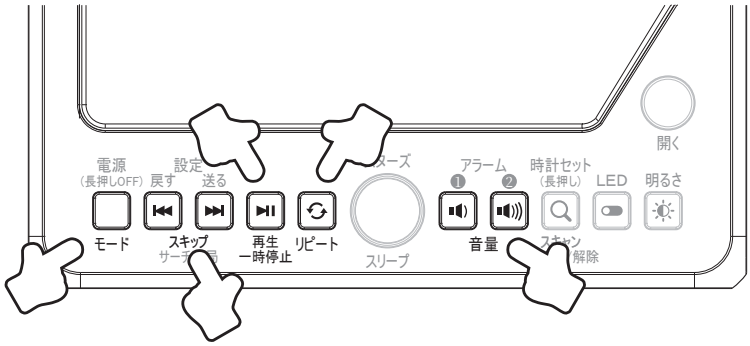
＊MP3 音源をフォルダー分けしている場合、リモコンのフォルダーボタンでフォルダー送りができます。
＊MP3 ディスクは通常の CD より再生開始までの時間が長くかかります。
＊ディスクの記録状態により再生できない場合があります。
＊ハート形やカード形など特殊形状の CD は本機の故障の原因となることがあります。
＊リモコンのプログラムボタンでプログラム再生、フォルダーボタンでフォルダー送りができます。
＊MP3 音源の作成方法、CD-R/CD-RW への転送方法などにつきまして弊社ではサポートしておりません、予めご了承お願いいたします。

CD-R （Compact Disc - Recordable）：データの書き換えはできない
CD-RW (Compact Disc - ReWritable）：データの消去 / 書き換えが可能

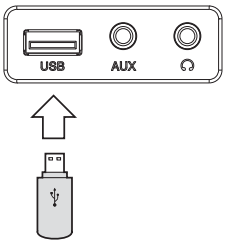
8　USB で MP3 を聴く

■操作

●使用するボタン



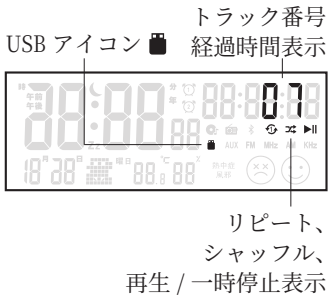
●本体左側面の USB 端子へ USB メモリーをセットします。



＊本機は USB ハブには対応していません。
＊セット後の USB メモリーに強い力を加えないように注意してくださ
　い。破損の原因となります。

●モードボタンを押して USB モードにします。USB アイコンが表示
　されます。

●全体のトラック数（曲数）表示後に音楽は自動的に再生されます。



＊USB メモリーが入っていない時もしくはデータが読み取れない時に
　ディスプレイに no と表示されます。
＊MP3 の tag 情報の表示機能はありません。

●スキップボタンの短押しで曲の送りまたは戻しができます。
　長押しで早送りまたは巻戻し再生になります。

●リピートボタンでリピートやシャッフルができます。

＊リピートボタンを押すたびに　OFF→ONE→FOLD→SHUFFLE→ALL　を繰り返します。
　OFF　　：通常再生
　ONE　　：1 曲リピート（繰り返し）再生します。
　FOLD　　：選択したフォルダー内の MP3 音源だけを繰り返し再生
　SHUFFLE：収録順に関係なくランダムに再生
　ALL　　：全曲繰り返し再生します。

●再生途中再生 / 一時停止ボタンを押して一時停止、もう一回押して再生になります。

＊リモコンのプログラムボタンでプログラム再生ができます。
＊MP3 音源をフォルダー分けしている場合、リモコンのフォルダーボタンでフォルダー送りができます。
＊MP3 音源の作成方法、USB メモリーへの転送方法などにつきまして弊社ではサポートしておりません、
　予めご了承お願いいたします。

USB ハブ：USB 端子を拡張する装置
tag 情報：曲名、演奏者などの情報

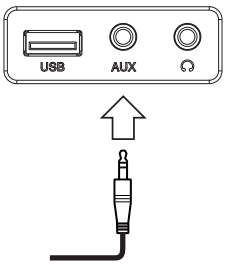
9　アナログ機器を接続する

■操作

●使用するボタン



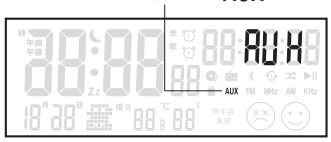
●本体左側面の AUX IN（外部入力）端子と外部機器のアナログ出力端子（ヘッドホン端子など）を附属のステレオミニプラグケーブルで接続します。



＊他社製品との接続により生じたいかなる損害に対しても、当社では責任を負いかねます。

●モードボタンを押して AUX モードにします。AUX アイコンが表示されます。

AUX アイコン **AUX**



●音量ボタンで音量を調節します。

＊音量が調整しづらい場合は外部機器で音量調整をします。
＊一時停止ボタンは消音（MUTE）ボタンとして機能します。

AUX = auxiliary：補助の、予備の

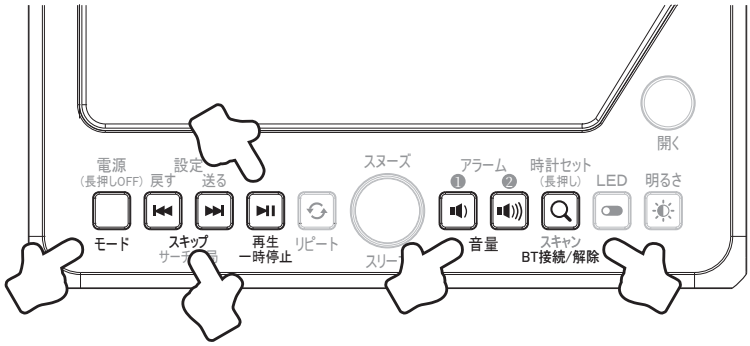
Memo.

10　BT（ブルートゥース）を接続する

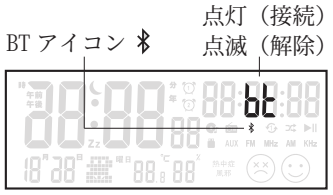
■操作

●使用するボタン

＊すべての BT 対応機器との接続動作を保証するものではありません。



●モードボタンを押して BT モードにします。BT アイコンが表示されディスプレイの bt 表示が点滅しペアリングモードになります。



●BT 対応機器の BT 機能を有効 (オン) にして、表示される機器から本機 CD-CLR3J を選びます。

●ペアリングされるとディスプレイの bt 表示が点灯状態になります。

＊BT 対応機器の BT 機能使用方法、BT 対応機器への音源転送方法などにつきまして弊社ではサポートしておりません、予めご了承お願いいたします。

●スキップボタンの短押しで曲の送りまたは戻しができます。

＊本機で早送りまたは巻戻し再生はできません。

●再生途中再生 / 一時停止ボタンを押して一時停止、もう一回押して再生になります。

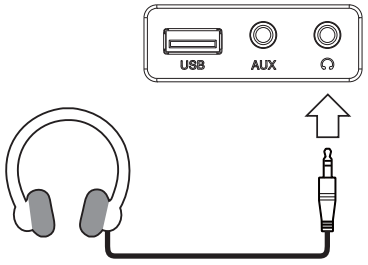
●BT 接続 / 解除ボタンでペアリングの接続 / 解除ができます。

11　ヘッドホンで聴く

■操作

●本体左側面のヘッドホン出力端子にヘッドホンのプラグを接続します。

＊プラグを挿入すると本機のスピーカーからの音は出なくなります。



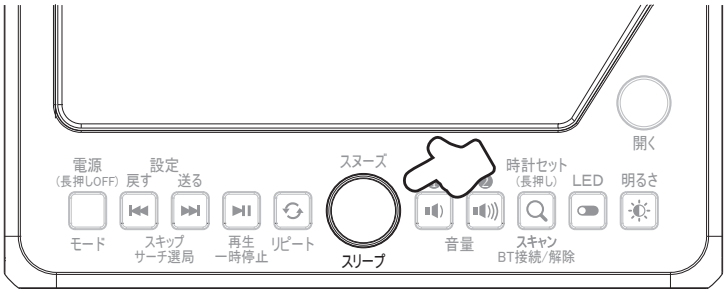
BT = Bluetooth：近距離無線通信規格の 1 つ

12　スリープ（おやすみ）タイマーを使う

■操作

●使用するボタン

＊設定時間後に電源 OFF できる機能です。



●音楽再生中にスリープボタンを押します。
スリープボタンを押すたびに　15→30→60→90→OFF
を繰り返します。30 とすると 30 分後に電源 OFF します。
スリープタイマー中はスリープアイコンが表示されます。

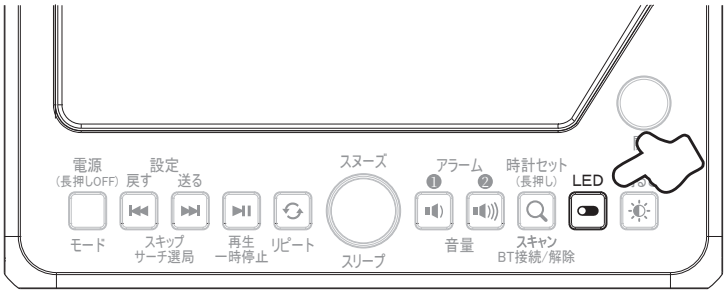


13　LED イルミネーションの ON/OFF

■操作

●使用するボタン

＊本機上部の LED イルミネーションを
ON/OFF する機能です。

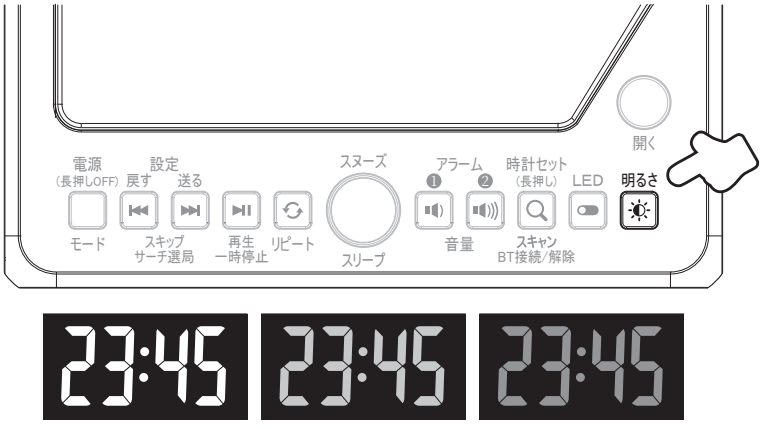


14　LCD ディスプレイの明るさを変える

■操作

●使用するボタン

＊本機前面の LCD ディスプレイ表示の
明るさを、周囲の明るさに合わせて
見やすい明るさに調整する機能です。
＊3 段階に調整できます。



LED = light emitting diode：発光する半導体素子
LCD = liquid crystal display：液晶表示装置

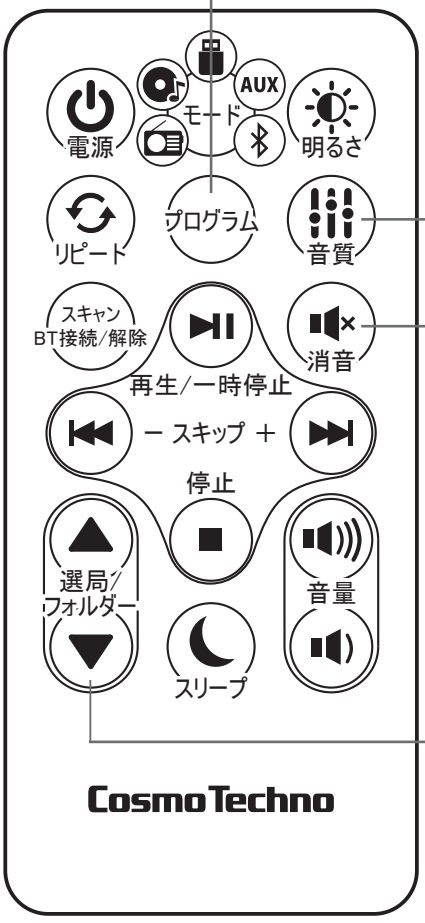
15　リモコンで操作する

■プログラム再生 ＊希望の曲を希望の順で再生できます。

●CD と USB は、プログラムボタンでお好きな曲を最大 20 曲メモリーできます。

①停止ボタンを押す
②プログラムボタンを押す　⇒ P01 点滅
　スキップボタンで曲を選びプログラムボタンを押すと P01 にメモリーされます　⇒ P02 点滅
　曲を選びプログラムボタンを押す・・・これを繰り返します。
③再生ボタンで順に再生することができます。リピートボタンでプログラム曲のリピートもできます。

＊電源ボタンを押したり停止ボタンを 2 回押すとメモリーはクリアーされます。



■聴き易い音にする

＊音のバランスを整えて聴き易い音で再生できます。

●音質ボタンを押すたびに
　FLAT→ROC→POP→JAZZ→CLASSIC
を繰り返します。心地よい音でお楽しみください。

■消音

＊一時的に音量をゼロにします。

●消音ボタンで音量を ON/OFF できます。

＊消音中は一時停止と異なり音楽は進行しています。

■選局 / フォルダー

●ラジオモードでスキャンボタンを押し放送局をメモリーしている時（自動選局メモリー機能）、選局ボタンを使ってメモリーした放送局を切り替えることができます。

●CD モードおよび USB モード時に、MP3 音源をフォルダー分けしている場合、リモコンのフォルダーボタンでフォルダー送りができます。

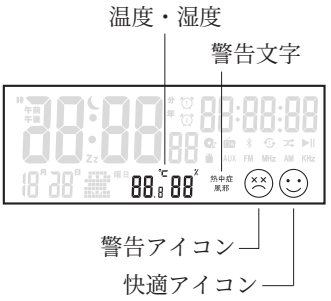
●スリープボタン：アラーム動作中にスリープボタンを押すと手元のリモコンでスヌーズに、長押しでアラーム終了できます。
●音量ボタン：電源 OFF 時には本体のアラームボタンと同じようにアラーム動作の ON/OFF や確認の操作が可能です。

16　インフルエンザ / 熱中症警告

■温度・湿度センサー搭載

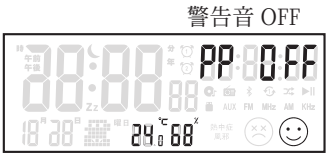
●本機には日本生気象学会発表の熱中症予防のための指針および宮城県地域医療情報センターによるインフルエンザ流行の指針のデータがソフトウェアで収録されています。

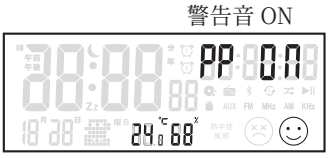
●本機に搭載されている温度・湿度センサーの測定値が、上記指針による警告レベルになった時に警告音が鳴るとともにディスプレイに赤い顔の警告アイコンと警告文字（風邪・熱中症）が点滅し、同時に上部の LED ランプが点滅して 10 秒間注意喚起を致します。



●警告音が鳴っているときに警告音を止めたい時は任意のボタンを押してください。

●警告音が鳴らないように設定するには電源 OFF 時にスリープボタンで ON/OFF を設定してください。





＊警告音の音量は調節できません。
＊環境管理の目安としてご使用ください。計測器ではありません。
＊故障の原因となりますので、本機背面に搭載の温度・湿度センサーに埃や水、スプレーガスなどが付着しない様にしてください。
＊本機を冷暖房機器の近くや直射日光の当たる場所などに設置すると、室内の温度・湿度が正しく表示されない場合があります。
＊インフルエンザ / 熱中症の警告範囲は、下記参考図の色つき部分に設定されています。

気温（℃）	相対湿度（%RH）																
	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40																	
38																	
36											熱中症　危険						
34																	
32							熱中症　厳重警戒										
30																	
28																	
26																	
24																	
22																	
20																	
18																	
16																	
14																	
12																	
10																	
8				インフルエンザ　警戒													
6																	
4																	
2																	
0																	

17　故障かな？と思ったら

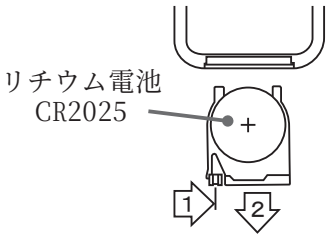
■全般

●電源が入らない
電源コードが正しく接続されていない　⇒　電源コードを AC IN 端子とコンセントにしっかり挿しなおしてください。

●電源が自動的に切れる
スリープタイマーがセットされている　⇒　電源を入れてください。

●本機が操作を受け付けない / ディスプレイの表示が正しくない
落雷、過度の静電気の影響で CPU がフリーズしている
⇒　22 ページ「工場出荷状態に戻す」の操作をおこなってください。

●リモコンで操作できない
受信できていない　⇒　リモコンは本体から約 5m、30 ° 以内の範囲で操作してください。本機とリモコンの間の障害物は取り除いてください。
電池が消耗している　⇒　新しい電池（CR2025）に交換してください。
極性を間違えている　⇒　図を参考に正しい向きに入れてください。
＊取り外した電池は誤飲の危険がありますので幼児の手の届くところに置かないでください。



①小さいツマミを右へ押しながら
②電池ケースを手前へ引きます

●音が出ない
再生したいソースが選ばれていない　⇒　モードボタンでソースを選んでください。
音量が最小または消音になっている　⇒　音量ボタンで音量を調節してください。
ヘッドホン端子にプラグが挿入されている　⇒　プラグを抜いてください。

●本機や周囲の機器から雑音が出る
他の機器からの距離が近すぎる　⇒　携帯電話など電波を発する機器から離し設置してください。

●アラーム設定時間以外にピピピ音が頻繁に鳴る
熱中症 / 風邪の警告音が鳴っている　⇒　警告の境界付近の温度・湿度のときに警告音が頻繁に鳴る場合があります。電源 OFF にしてスリープボタンを押して PP OFF にしてください。

●指定したアラーム音源が鳴らない
CD　⇒　CD を入れて CD ドアーは閉じておいてください。
USB　⇒　予め曲の入った USB を USB 端子にセットしてください。
BT　⇒　ペアリングを済ませた BT 対応機器の BT 機能は有効 (オン) のままにしておいてください。

●電源 OFF 時にアラームボタン押してもアラームアイコンが表示されない
アラーム設定が消えている　⇒　アラームの再設定をおこなってください。

●電源を抜いたら時計やアラームの設定が消えてしまった
本体の電池が消耗している　⇒　電池をすべて新しいものと交換してください。

●電池を入れたのに時計が表示されない
本体の電池は時計・アラーム設定の保持メモリー用です。時計は電源コード接続時に表示されます。

故障かな？と思ったら（つづき）

■ラジオ

●FM 受信時ステレオにならない
ステレオ放送のときだけステレオになります。

●FM/AM 放送で雑音が多い
本機の設置場所を変えてみてください。
FM：アンテナの向きや位置を調整してください。
AM：本機を回転してみてください。

●雑音が入る
電波がコンクリートの壁や金属製の棚などで遮断されると受信しにくくなります。
付近で自動車が走行していたりミキサーや電動工具などを使っていると雑音が入ります。
FM ステレオ放送では受信状態により雑音が大きくなります。

■CD

●再生がはじまらない
CD が裏返し ⇒ 虹色の面を下向きにしてください。
CD が汚れている ⇒ 汚れがひどいときは市販の CD クリーナーでクリーニングしてください。
レンズが結露している ⇒ CD ドアーを開けて 1 時間くらい放置してください。

●音が飛ぶ / 振動で音が途切れる
スピーカーの音が大きい ⇒ 音量を下げてください。
CD が汚れている ⇒ CD をクリーニングしてください。
CD に傷がある ⇒ CD を交換してください。
本機の設置場所が不安定 ⇒ 振動のない場所に設置してください。

●再生が始まるまで時間がかかる ⇒ 曲数の多いディスクの場合に読み込みに時間がかかることがあります。

●CD-R/CD-RW が再生できない
書き込みが正しくない ⇒ ディスクの書き込みは、「CD/DVD プレーヤーで使用する（マスター形式）」を選択してください。
書き込み時にファイナライズ処理をしてください。
記録状態もしくはレコーダーの状態がよくない。
本機は MP3 のみに対応しています。

●CD-R/CD-RW の再生順が意図したものと違う ⇒ 再生順は書き込みソフトによります。

■USB

●再生がはじまらない ⇒ USB メモリーを挿しなおすなど接続を確認してください。
全ての USB メモリーの動作は保証できません。一部 USB メモリーでは認識できない場合もあります。

●再生が始まるまで時間がかかる ⇒ 曲数の多いディスクの場合に読み込みに時間がかかることがあります。

故障かな？と思ったら（つづき）

■AUX

●音が歪む、音が小さい、音が出ない
外部機器の音量調整が合っていない　⇒　本機の他のモードの音量設定で同音量くらいになるよう外部機器の音量を調整してください。

●レコードプレーヤーの音が小さい　⇒　レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か確認してください。内蔵していない場合別途フォノイコライザーが必要です。MC カートリッジをご使用の場合は昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

●AUX IN 端子に接続した機器の音が出ない　⇒　ヘッドホン端子と間違えてないか確認してください。ケーブルに破損はないか確認してください。

■BT

●ペアリングできない
BT 機能が有効になっていない　⇒　BT 機能を ON にする、もしくは再接続操作をしてください。
BT 対応機器との距離が離れすぎている　⇒　BT 対応機器を近づけてください。
すでに他の BT 対応機器と接続している　⇒　一旦接続を解除してから接続をやり直してください。

●音が小さい、途切れる
BT 機器の音量設定を確認してください。
本機と BT 機器を近づけてください。本機と BT 機器間の障害物を取り除いてください。
電子レンジ、無線 LAN 機器、ほかの BT 機器から遠ざけてください。

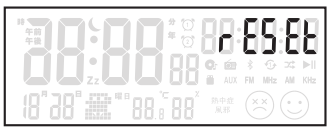
■ヘッドホン

●ヘッドホン端子に接続したヘッドホンから音が出ない　⇒　AUX IN 端子に間違えて挿入してないか確認してください。

■工場出荷状態に戻す

＊ディスプレイの表示が正しくない、操作できない時に本製品を強制的にリセットし工場出荷状態に戻すことができます。

●電源 OFF にします。再生 / 一時停止ボタンを 5 秒間長押しします。
【RESET】表示後 LCD 全点灯し初期状態に戻ります。
リセット中は電源コードを抜いたりしないでください。
リセット後、時計・アラームなどは再設定が必要になります。



18　主な仕様

■FM/AM チューナー部
受信範囲：FM 76.0 MHz～95.0 MHz
　　AM 531 kHz～1602 kHz
アンテナ：FM ロッドアンテナ 4 段 120～350 mm
　　AM フェライトバーアンテナφ10×60 mm
メモリーチャンネル数：FM10 局、AM10 局

■CD プレーヤー部
型式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数：2 チャンネル
周波数特性：60 Hz ～ 20 kHz
サンプリング周波数：44.1 kHz
読み取り方式：非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
対応メディア：CD-DA / CD-R / CD-RW

■USB 部
仕様：USB2.0 ハイスピード
対応機器：USB マスストレージクラスデバイス
ファイルシステム：FAT、exFAT
対応ファイル形式 : MP3, WMA(※)
　※対応：Windows Media オーディオ
　　Windows Media オーディオ (可変ビット レート)
　非対応：Windows Media オーディオ プロ
　　Windows Media オーディオ ロスレス

■BT 部
通信システム：Bluetooth 標準規格 Ver. 5.0+EDR
送信出力：Power Class 2
最大通信範囲：見通し距離 約 10m
使用周波数帯域：2.4 GHz 帯
対応プロファイル：A2DP, AVCTP, AVDTP, AVRCP, HFP, SPP
対応コーデック：MP3, SBC
対応コンテンツ保護：SCMS-T

■時計 / アラーム / スリープ
時計方式：マイコン内蔵 RTC（Real Time Clock）
月差：＜60 秒
アラーム（エブリデイアラーム）：2 系統
スリープ（スリープタイマー）：最大 90 分

■温度・湿度センサーモジュール参考仕様
温度測定範囲：-40～80 ℃
温度測定精度：10～55 ℃ ±0.5 ℃ (Typ.) それ以外 ±1 ℃ (Typ.)
湿度測定範囲：0～99.9 %RH
湿度測定精度：20～80 %RH ±3 %RH (Typ.) それ以外 ±4 %RH (Typ.)

■スピーカー
型式：ダイナミック型フルレンジ
サイズ：2 インチ
出力：1.5W×2 個

■入力・出力端子
PHONES 3.5mm
AUX IN 3.5mm
USB Type-A

■共通部
電源：AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力：13 W（定格消費電力）
待機電力：2.5 W
最大外形寸法：幅 168 mm
　　高さ 90 mm
　　奥行き 228mm
質量：1350 g

■附属品
電源コード
リモコン
ステレオミニプラグケーブル
単四形乾電池 (AAA)
取扱説明書 / 保証書
かんたんマニュアルシート

＊仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。